

学林光澗大学科

世界を照らす“わたし”になる場所
Forming the Self,
That Illuminates the World



私たち学林光澗大学科は、
東京近郊の大学に通いながら
大聖堂のお膝元で寮生活をしています。
多様バックグラウンドを持った
仲間との共同生活を通して、
自己の無限の可能性に目覚め、
社会に貢献し、世界の未来を創造します。



学林光澗大学科（バンフレット）2026年00月00日発行

発行：学林光澗グループ 行学園
企画・学林光澗大学科広報係
WEBサイト：<https://www.gakurin.jp/>



学林光澗大学科

学林光澗大学科について

寮生の1日

卒林生のことば 田中（48期生）



学林光澍大学科について

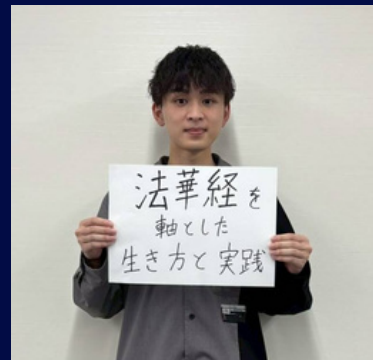
寮生活について

「学び合い、磨き合う、その中から生まれる絆」
寮では大学科生全員の参画による自主的な運営を基本としています。

朝夕のご供養を中心とした寮生活や学林プログラムに参加することで、自分の夢や志を発見し、互いに磨き合い人格の向上を目指します。

学林プログラムについて

光澍のつどい、根本義・法華経研修、学長ゼミ、専門研究発表会、季節ごとの学林行事、食事当番、寮運営役員や行事実行委員など。大学の授業との両立を図りながら、自らの夢をかなえる土台づくりとなります。



卒林生のことは 田中啓仁（48期生）

「違いに調和を見出す」

育った環境も大学も専攻も光澍に入った動機も異なる男女での4年間に及ぶ共同生活は、想定よりも遥かに難しいもので、多くの気づきや葛藤がありました。

密な寮生活ですから、他者の行動が過度に気になったり、逆に至らない自分を見せてしまったりすることが多々あります。「人間は本当に様々な側面を持ち合わせ、まったく同じ人間などいない」のだと分かり、何でも相互理解の難しさを痛感しました。

そんな中でも、研修で教えていただいたことを活かし、「短所に見えるところも含めてその人が仏さまにいただいたもの」と捉え、相手の幸せを心から願い誠実に関わっていくことが人間関係を構築する上で大切なのだと実感しました。

同期や後輩が相談してくれることもあり、教えを実践していき人間性を向上させることで人の役に立つことが、いつしか私の生き甲斐の一つになっていました。

まだまだ未熟ながら、寮生活を通して「法華経の教えを軸にして生き、社会に貢献したい」と思ったことが人生の転機の一つです。

平日のスケジュール

6:00	起床・掃除
6:30	ご供養
7:00	朝食
8:30	登校（それぞれの学び場へ）
17:00	食事当番（週1回程度担当）
19:00	研修・寮生活会
21:00	ご供養
23:00	門限

*寮生活会と光澍のつどいが月に1度、
研修 or 期別法座が月に2,3度行われます。



詳しくは、学林WEBサイトまで
リンク：<https://www.gakurin.jp/>